

2020年5月15日

**博報堂DYメディアパートナーズ、日本円で安全に NFT を購入出来る
NFT 販売所「NFT Agency」を開発！
グッドラックスリーの dApps ゲーム「くりぶ豚レーシングフレンズ」上で実証実験中**

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：矢嶋弘毅 以下、博報堂DYメディアパートナーズ）は dApps 新規事業開発プロジェクト「PlayAsset」において、日本円で NFT（※1）を購入できる NFT 販売所「NFT Agency」を開発し、株式会社グッドラックスリー（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：井上和久、以下 GL3）が運営する dApps ゲーム「くりぶ豚レーシングフレンズ」上で 2020 年 4 月から開始している実証実験を 6 月末まで継続することをお知らせいたします。



dApps ゲームは「ゲームを遊ぶことで得られるキャラクターなどのデジタル資産が、ブロックチェーン技術により価値化され、現実の資産と同等の価値を持つ」という特徴を有しており、その新しいユーザー体験に期待と注目が集まっています。

しかし、日本で稼働している多くの dApps ゲーム内での取引は暗号通貨で行われるため、暗号通貨を保有している人（国内の暗号通貨保有率は 5%程度（※2））しかゲームに参加出来ない状況です。暗号通貨を保有していないユーザーが dApps ゲームを利用するには、仮想通貨取引所に口座登録を行い暗号通貨を購入する必要があります。口座登録完了までには数週間かかることもあり、この環境の整備は dApps 業界にとって早急に改善すべき課題と捉えています。（図 1）

そこで「PlayAsset」はこの課題を解決すべく、dApps ゲーム内で日本円で安全に取引ができる NFT の販売所「NFT Agency」を開発しました。これにより、暗号通貨を保有しなくても dApps ゲームに参加できるため、新規ユーザーの流入を加速し、dApps ゲーム市場のさらなる発展・拡大に貢献できると考えています。（図 2）

「NFT Agency」は、販売所機能を API として開発、2020 年 4 月に GL3 が運営する dApps ゲーム「くりぶ豚レーシングフレンズ」上で NFT の日本円購入の実証実験を開始しました。この度、決済システムの健全な稼働が確認出来たことで、テスト期間を 6 月末まで延長いたします。（※3）テスト期間中はクレジットカード決済のみの対応ですが、今後実証実験の結果を受けてクレジットカード以外の決済手法導入によるマルチペイメント対応や、CtoC マーケットプレイスである NFT 取引所などへの導入を推進していきます。

博報堂DYメディアパートナーズは、「ゲームを遊ぶことが価値になる世界を実現する、Play to Asset」をミッションとする dApps 新規事業開発プロジェクト「PlayAsset」の活動を通して、今後も dApps 業界の課題を解決するために新規プロダクトを開発し、継続的に改善、強化を行ってまいります。

※1 NFT = Non-Fungible Token の略。代用不可能な個別のトークンを指し、ゲーム内のキャラクターやアイテムに使用されることが多い。

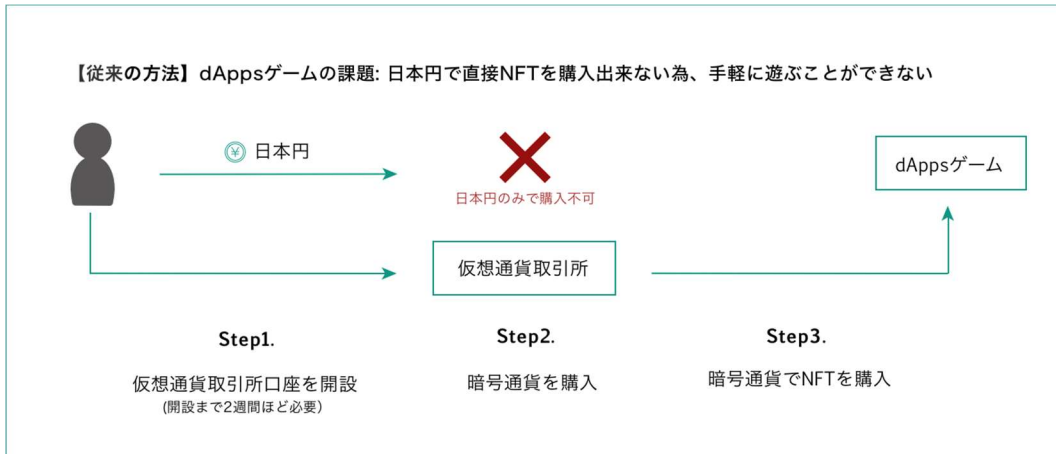
※2 博報堂調べ（<https://www.hakuhodo.co.jp/uploads/2019/03/20190306.pdf>）

※3 一部、非対応の動作環境がございます。ご利用前に事前にご確認ください。

【本件に関するお問い合わせ】

博報堂DYメディアパートナーズ 広報室 山崎・山崎 mp.webmaster@hakuhodody-media.co.jp

(図1) dAppsゲームに課金をするためには仮想通貨取引所に口座を開き暗号通貨を手に入れる必要がある



(図2) NFT Agency を導入することにより、ユーザーは暗号通貨に触れることなく NFT を購入可能に



【くりぶ豚 (トン) レーシングフレンズとは】 <https://www.crypt-oink.io/>

日本初 (※1) の dApps ゲームで、ふしぎな生き物「くりぶトン」を配合でき、様々な色や形などおよそ 3 京 6,000 兆通りにのぼるキャラクターを収集するシミュレーションレースゲーム。仮想通貨 (暗号通貨) イーサリアムを用いて、「くりぶトン」を相互にトレードすることが可能で、育成してパラメータを強化しながら、他のオーナーと競い合うレースが遊べる。

※ 1 : 日本法人のプロダクト (独自調査による)

【株式会社グッドラックスリー 会社概要】 <https://www.gl-inc.jp/>

- ・設立 : 2013 年 2 月
- ・事業所 : 福岡県福岡市中央区天神 3-14-31 天神リndenビル 2F
- ・事業内容 : ブロックチェーンのプロダクト・サービスの企画 / 開発 / 運営、スマートフォンゲーム・アプリの企画 / 開発 / 運営、映像芸能事業

【グッドラックスリー社からのコメント】

「くりぶ豚」はリリース当初から、暗号通貨イーサリアムを必要としたプレイ体験の不便さに課題を感じておりました。Twitter 連携機能や最初からイーサリアムを必要としないプレイなど、よりよい dApps ゲーム体験を模索し、改善をおこなってまいりました。「PlayAsset」の NFT Agency を導入することで、またひとつ dApps ゲームのハードルを下げることができ、多くの方が dApps ゲームを遊ぶきっかけになるものと期待しています。